

教育研究業績書		
平成 29年 5月 1日 氏名 鴨志田 加奈 印		
研究分野	研究内容のキーワード	
身体表現	身体表現・演劇表現・舞踊表現・ダンス・ミュージカル	
教育上の能力に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1. 教育方法の実践例 1.ダンス指導についての実践的な学びを促進する体験型授業への取組み (東京家政大学短期大学部保育科「保育総合表現」後期開講)	平成 23年 9月 ~ 25年 3月	保育者養成課程にある120人が対象。ダンスの創作と実演を通して、学生自身が自発的動機を持って生き生きと踊るという経験をさせると同時にダンス指導におけるポイント(共感的学習環境の重要性、相手の身体技能にあった振付の重要性など)を体験的に学習させる授業を実施した。事後のインタビュー調査では「ダンスはセンスがないと出来ないものだ」というコンプレックスがあったが、仲間との関わりの中でダンスはみんなで楽しむものだを知ることができた。子どもに教える時も関わり方を大切にしたい。」などの声が集まり、ダンスの関係志向性が機能する学習環境を提供できていたこと、保育者養成における具体的な学びに結びついていた事が明らかとなった。
2.ジャズダンス等の現代的なリズムのダンスの基本エクササイズを用いた大学体育への取組み (東京家政大学共通教育科目「からだとスポーツ」前期・後期開講)	平成 24年 4月 ~ 25年 3月	踊る事の楽しさと運動として一定の身体活動量を提供することを目的にした体育の授業を実施。体ほぐしやストレッチ、ボディーメイクエクササイズ(ピラティスやバレエのエクササイズ)によって身体への意識を促すと同時に、リズム運動により心拍数を上げ、授業後半にはコンビネーション(一連の振付)に挑戦し、まずは踊ることを楽しめる簡単なダンス教材の提供と雰囲気作りにポイントをおく。学生による授業評価では、「自分のからだを知るきっかけになった」「仲間と楽しく踊れて良かった」などコメントが多く高い評価を得ている。
3.他者とのコミュニケーションに着目した演劇的要素含むダンスパフォーマンス体験型授業の試み (東京家政大学共通教育科目「しなやか	平成 21年 4月 ~ 25年 3月	家政学部、人文学部の1・2年生を対象とした共通教育授業である。コーディネーターの教員1名と3名の表現領域の専門家が講師となり、ダンス・芝居・歌という表現媒体を介しバーバルコミュニケー

<p>な心とからだ」オムニバス形式授業全15回の内、ダンスパフォーマンスワークショップ 5回を担当(前期・後期開講)</p>		<p>ションとノンバーバルコミュニケーションを行き来する柔軟な他者との交流を体験させる。大学機関における導入教育的な立ち位置でもあり、今後の学生生活や社会生活における他者との相互的関わりを表現という手法を用いて実体験させていく取組みである。全15回のうち後半の五回を自身が担当した。約50人に対しダンスの振付の指導を行なうと同時に、パフォーマンスという形状のミュージカルシーンを仕上げていく。「見せる見られる」という実体験を手がかりに、表現のコミュニケーション性に対する気づき促すような機会を提供する事を目的とした活動である。ダンスはキャラクターダンス、シアターダンスなどの種類である。年々受講希望者が増加し、抽選で受講決定をする状態であった。参加学生は今までに体験したことのない表現手法に刺激を受け、恥ずかしがるという域を越えた「伝える表現」を生き活きと楽しむ姿が見られ、学生からも新しい学びが多かったという評価を得ている。</p>
<p>4.「幼児体育」(山村学園短期大学保育学科1年前期開講 全15回)</p>	<p>平成26年4月～現在</p>	<p>様々な遊具を使用した遊びの展開や環境構成について、幼児体操、リズム遊びなど15回の授業の中に近隣保育現場で想定される活動を取り込み、運動発達についての意義と段階的な指導について体験的に理解すると共に、実践力に繋がるような授業を行なっている。</p>
<p>5.「身体表現」(山村学園短期大学保育学科1年後期開講 全15回)</p>	<p>平成26年4月～現在</p>	<p>お遊戯会、発表会等で行なわれる事が多いダンス等の「型のある身体表現」と、子ども達の日常における遊びから生まれるような即興的で「型のない身体表現」について、両側面から多角的に身体表現を捉える視点を養うと共に、具体的な活動を実践できる力を育成する事を目的とした授業実践を行なっている。授業アンケートでは授業内容を実習で活かす事ができた等の学生の声も聞かれ、授業評価の数値も年々上がっている。現場でのイメージに繋がりがやすい授業内容が学びの意欲に繋がっていると考察できる。</p>
<p>6.「リトミック・リズム運動」(山村学園短期大学保育学科2学年共通前期選択科目 全12回)</p>	<p>平成26年4月～現在</p>	<p>身体表現の発展・応用的取組みとして、ダンスの5つのエッセンス(身体性・コミュニケーション性・審美性・娯楽性・情緒性)をヒントに、様々なダンスジャンルについての知識提供と実践を織り交ぜた授業を行なっている。青年期にある学生自身が踊る事の楽しさや意義を感じることや、様々な表現経験から生まれる自信が、保育現場での表現活動を豊かに構築する底力となると仮説を立てて行なっている。学生の</p>

<p>7.「子ども文化演習 C 劇」(山村学園短期大学保育学科 2 年後期開講 全 15 回 担当教員 3 名)</p>	<p>平成 26 年 4 月～現在</p>	<p>授業評価は高いが、学びの実態や効果については検証が不十分である為、今後の研究課題としたい。</p> <p>クリスマスに行なわれる発表会(対外行事)に向けて、舞台表現作品を制作しながら、子どもの心性に届く表現とはどのようなものかといった子ども理解の視点に加え、他者との協働的活動を通して自身の能力に気づき、問題解決に向かい意欲的に取り組む事も到達目標に掲げ授業実践を行なっている。今日的な学生の性質と対峙しながら教員自ら 1 メンバーとして協働しプロジェクトを遂行する事においては、課題も少なくないが、学生たちのアクティブラーニングの場となるよう授業体制・環境について幾度も教員間でのミーティングを重ねている。専門の表現領域を持つ教員 3 名も互いの専門分野を越え、統合的に表現を捉え補完しあいながら授業を進行している。</p>
<p>2. 作成した教科書、教材</p>		<p>特記事項なし</p>
<p>3. 教育上の能力に関する大学等の評価</p>		<p>特記事項なし</p>
<p>4. 実務の経験を有する者についての特記事項</p>		<p>特記事項なし</p>
<p>5. その他        主な指導歴        1. 東京学芸大学教育学部附属小金井中学校・世田谷中学校、「選択授業英語」における英語劇におけるダンス指導及び大会参加作品の振付         2. 地域子どもクラブ ダンスチーム指導 (東京都三鷹市立北野小学校)         3. キッズダンス講座指導</p>	<p>平成 15 年～現在に至る。         平成 20 年 9 月～25 年 3 月         平成 25 年 9 月～</p>	<p>東京学芸大学教育学部附属小金井中学校・世田谷中学校の「選択授業英語」では、英語劇を作成し、東京都中学校英語学芸大会プレイの部に出場している。この作品において、ダンス指導を行い、大会参加作品の振り付けを担当してきた。大会実績は、平成 15 年度優勝、平成 16 年度準優勝である。</p> <p>週に一度、希望する児童を集めて実施されている「地域子どもクラブ」のダンスレッスンを指導している。地域の他のダンスチームと交流して行う合同発表会を年二回企画し発表の機会を提供してきた。これらの企画運営は地域子どもクラブの地域の方々と協働して取り組んでいる。現在 30 名の児童が在籍し、ダンスを楽しむこと、一つのことを続けること、ダンスを通じた仲間作りを目標としている。</p> <p>大学機関と地域の交流を目的とし、開講された講</p>

(日本女子体育大学地域交流推進室 公開講座)	12月	座である。地域公立小学校や近隣私立小学校に通う児童小学1~3年生11名の参加がした。
4.ダンス指導 (民間ダンススクール)	平成19年10月 ~ 25年3月	総合芸能学院テアトルアカデミーにて、ダンス非常勤講師として、幼児から中学生までのダンス指導を行ってきた。 S&S エンターテインメントスクールにて、ダンス講師として成人男女を対象にダンス指導を行ってきた。
5.全埼玉私立幼稚園連合会北部ブロック 新規採用教員研修会講師	平成26年8月	埼玉県北部の私立幼稚園新規採用教員を対象に研修会を行った。教員自身が心弾ませながら踊る事による高揚と楽しさを実感する事を目的に、様々なジャンルのダンスワークを提供した。約100人の参加があり、アンケート結果も好評との事で、引き続き次年度も講師依頼を受けた。
6.日本リズムムーブメント指導者協会講習会講師	平成27年1月	生涯スポーツに焦点をあてたダンス協会にて20~60代と幅広い受講者に向け、シアターダンスワークショップを行った。当日は100人の参加があり盛況であった。
7.鴻巣市私立幼稚園協会幼稚園 教員研修会講師	平成27年6月	身体表現の理解とその指導法といった内容について、鴻巣市内の私立幼稚園教諭約100名に対しワークショップを行った。ダンスを構成する要素であるコミュニケーション性・情緒性・審美性・新体制・娯楽性の5つについて理解を深めながら実技を行った。
8.全埼玉私立幼稚園連合会北部ブロック 新規採用教員研修会講師	平成27年8月3 日	前年度より引き続き、埼玉県北部の私立幼稚園新規採用教員を対象に研修会を行った。
9.十文字学園女子大学健康栄養学科 自主社会活動「ダンスパフォーマンス」指導	平成27年8~9 月	十文字学園女子大学で奨励されている学生の自主社会活動の1つである「ダンスパフォーマンス」(新座市のイベントで、30名ほどの学生集団がダンスを披露し、イベントのオープニング等を盛り上げる地域貢献活動)において、学生の取り組んでいるダンス作品について、特別講師として指導・助言を行なった。
10.日本リズムムーブメント指導者協会講習会講師	平成28年8月	前年度より引き続き、日本リズムムーブメント指導者協会講習会講師として、生涯スポーツ指導に従事する指導者約60名にダンス指導を行なった。
11.日本女子体育連盟サマーセミナー (国立オリンピック記念青少年総	平成16年4月~ 18年8月	現役体育教員、地域指導者が集まる全国規模のサマーセミナーにおいて、講師を務めた。

合センター)生涯ダンス部門講師		当日は約120名の参加があり、踊ることの楽しさや表現の奥深さを体験できるシアターダンスの指導を行った。約1時間20分で振付指導を行った。
有明教育芸術短期大学山本ゼミナール・東京家政大学花輪ゼミナール合同演劇表現学習会『おはなしいっぱい!げきまつり』講師(舞踊劇)	平成28年8月	大学間合同学習会に舞踊劇指導者として参加。他学の学生と協働しながら二日間の作品創作にあたり、三日目には児童館でのパフォーマンスを行った。指導者としてではなくファシリテーターという立場で活動にあたったことで自身の課題も見え、学生とともに多くの学びを得ることができた。
主な舞台出演作品		
1.「Annie」日本テレビ放送網主催ミュージカル出演	平成17年11月	ブロードウェイミュージカル「Annie」の日本キャスト版、ジョエル・ビショップ演出、ピリー吉野振付作品に未来スター役などで出演した。3年間継続し、東京公演、全国ツアーに参加し約150ステージに出演した。
2.「歌舞奏スペシャル」五木ひろし特別公演出演	平成19年1月～20年7月	洋舞ダンサーとして、ショー場面に出演した。
3.「春の夜の夢」東儀秀樹新春コンサート出演・東儀秀樹スペインサラゴサ万博出演	平成20年10、11月・平成22年6、7月	日本最古の舞踊劇である伎楽及び天女舞を担当し舞台出演をした。東京公演、全国ツアーに参加した。また同作品でスペインサラゴサ万博にて伎楽及び天女舞を担当し披露した。
4.「CHICAGO the musical」出演TBS・キョードー東京・梅田芸術劇場・朝日新聞社主催	平成22年1月	ブロードウェイミュージカル「CHICAGO」の日本版キャストとして出演。主演は米倉涼子、和央ようか、河村隆一、大澄賢也、他である。ブロードウェイより制作チームが来日し、舞台を作り上げた。400人を超える応募者の大規模なオーディションから7名に選出され、リズ、ハニャック、ジューン、モナ、アニー役を演じた。
5.「Funny Girl」出演 TBS・梅田芸術劇場主催	平成22年3月	ブロードウェイミュージカル「Funny Girl」に主演、ポリ役を演じた。演出は宝塚歌劇団演出家の正塚晴彦であった。
6.「市村正親・鹿賀丈史それぞれのコンサート」出演 ホリプロ主催	平成22年3月	市村正親氏、鹿賀丈史氏のコンサートにダンサーとして出演した。特に市村氏に関しては劇団四季時代から遡り、彼の出演作のナンバーを中心としたミュージカルショーに出演した。
7.ダンス作品「家族」制作・出演 神楽坂セッションハウス	平成27年4月1日	鴨志田加奈・藤山すみれデュオ作品を制作、発表。

8. THE HARMONY OF MUSIC AND STEPS VOL.4 「HALF&HALF」出演 北沢タウンホール	平成27年9月1日	音楽家大下和人・舞踊家藤山すみれ主催の THE HARMONY OF MUSIC AND STEPS 第四回 目公演にダンサーとして出演。
--	-----------	---

**職務上の実績に関する事項**

事 項	年 月 日	概 要
1. 資格、免許		特記事項なし
2. 特許等		特記事項なし
3. 実務の経験を有する者についての特記事項		特記事項なし
4. その他		特記事項なし

**研究業績等に関する事項**

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				特記事項なし
(学術論文) 1 保育者養成課程におけるダンス教育の可能性～ミュージカルにおけるダンス創作に着目して～	単	平成26年3月	東京家政大学大学院人間生活学総合研究科 修士論文	青年期にある学生の身体性、内的感情に真に訴えうるダンス体験に焦点をあて、指導者養成における学びに与える効果やまたその具体的な授業プロセスを検討することを目的に実践研究をおこなった。自身が関わった授業(ダンス創作と実演)を対象とし、観察調査及びインタビュー調査を行った。その結果、仲間との協働的作業が段階的に深まる授業構造が学生の身体活動量や心的な動機を向上させることが示唆された。またダンス活動による仲間との一体感の経験は、苦手意識の克服、ダンス概念の変化にポジテ

<p>2 保育者養成におけるダンス創作と実演の取り組み-学生の学びの過程に着目したインタビュー調査-</p>	<p>単</p>	<p>平成27年8月</p>	<p>日本基礎教育学会紀要第20号</p>	<p>ィブな変化をもたらす可能性が考察できた。さらにこれらの経験のプロセスがダンス指導における具体的なポイント(共感的指導、人的環境の重要性)の体験的な理解を促す可能性が考察でき、指導者養成課程における活動としての有用性が示唆された。</p> <p>ダンス創作と実演における学生の学びの過程に着目した授業実践を行い、事後にインタビュー調査を行った。活動に対する学生の語りを、身体的な経験の変化に関するもの、心的経験の変化に関するものの2つに分類し、考察を行なった。</p>
<p>3.ダンス創作活動に関する学生の語りの分析</p>	<p>単</p>	<p>平成28年3月</p>	<p>山村学園短期大学紀要第26号</p>	<p>前著である「保育者養成におけるダンス創作と実演の取り組み-学生の学びの過程に着目したインタビュー調査-」の考察を深め、ダンス創作活動に関する学生の語りを丁寧に紐解き、身体的な経験と心的経験の相互作用から学生の活動過程を仮説的ではあるがモデル図として示した。また、保育者養成としての有用性といった観点も含め、より総合的な授業実践の考察を行なった。</p>
<p>4.坪内逍遙が児童教育にもたらした偉業-家庭用児童劇の導入的意義-</p>	<p>共</p>	<p>平成28年7月</p>	<p>東京家政大学生生活科学研究報告</p>	<p>東京家政大学生生活科学研究所総合研究温故知新プロジェクトにおける平成27年度研究成果を報告した。坪内逍遙の著書『児童教育と演劇』『児童劇の種類及び使命』『逍遙選集』をテキストとして、逍遙が主唱する演劇教育の理論的根拠を明らかにした。(執筆担当部分：遊戯の芸術化)</p>
<p>(学会発表等) 1.保育者養成課程におけるダンス創作と実演の取り組みに関する一考察</p>	<p>単</p>	<p>平成26年5月</p>	<p>日本保育学会第67回大会</p>	<p>保育者養成課程におけるダンス活動の具体的な授業プロセスを検討することを目的におこなった観察調査及びインタビュー調査の考察について発表を行った。</p>

2.身体表現活動の総合的理解を目指した保育者養成校での取り組み	単	平成27年5月	日本保育学会第68回大会	身体表現についての知識提供と実践を織り交ぜた保育者養成校における授業実践について報告を行った。
3.坪内逍遙が児童教育にもたらした偉業 - 家庭用児童劇の導入的意義	共	平成28年2月	東京家政大学リサーチウィークス	東京家政大学生生活科学研究所総合研究温故知新プロジェクトにおける研究テーマ「坪内逍遙が児童教育にもたらした偉業 - 家庭用児童劇の導入的意義」の客員研究員として平成27年度研究成果を発表した。(執筆担当部分: 遊戯の芸術化)
4.学習者の創造性を涵養する授業プログラムの検討-授業実践の意義、内容、課題に着目して-	単	平成28年5月	日本保育学会69回大会	自主シンポジウム登壇者の1人として、「学生と教員の協働について 表現発表会の経緯から考える -」というテーマで授業実践の報告を行なった。
(作品) 1.逗子市芸術文化事業協会・逗子教育委員会主催市民ミュージカル作品「湘南ラジオ」振付	共	平成21年9月	神奈川県逗子市文化プラザ	作品本編振付及びステージングを担当した。逗子の地域文化の今昔を題材としたミュージカルであり、公募で募集された地域住民と共に約6ヶ月かけて作品を作り上げた。小学生から60代まで幅広い年齢の参加があった。共同制作者: 鴨志田加奈、後藤圭、花輪充 他
2.文化庁地域文化振興施策「本物の舞台芸術体験事業」厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財「劇団かかし座アラジンと魔法のランプ」振付及びステージング	共	平成21年9月	神奈川県川崎市立稲田小学校 他	作品本編振付及びステージング、ワークショップにおける小学生用ダンスの振付を担当した。本作品は全国の小学校、特別支援学校、ホール等で「本物の舞台芸術体験事業」として平成25年9月まで上演された。共同制作者: 鴨志田加奈、後藤圭、花輪充 他

<p>3. 財) 児童健全育成推進財団 児童劇巡回事業 遊育研究所 素劇舎「素劇 ブレーメンの音楽隊」「素劇 金のがちょうワークショップ」振付及び出演</p>	<p>共</p>	<p>平成24年8月</p>	<p>姫路市立飾磨児童センター、相模原市立大沼こどもセンター他11カ所巡回</p>	<p>厚生労働省外郭団体である児童健全育成推進財団が実施する児童劇巡回事業において劇団遊育研究所素劇舎の作品に振付兼出演という形で参加した。対象年齢は幼児、児童である。幅広い年齢の子ども達の琴線に触れる良質な芸術体験となるよう、鑑賞だけでなくワークショップも取り入れた芸術体験事業となっている。音楽、身体、演劇の総合的表現を演出家関矢幸雄が提唱する素劇によって構成された作品であり幾度も再演されている人気作品である。 共同制作者：鴨志田加奈、後藤圭、花輪充 他</p>
<p>4. 文化庁文化芸術振興費助成「トップレベルの舞台芸術創造事業」「劇団かかし座オズの魔法使い」振付及びステージング</p>	<p>共</p>	<p>平成25年8月～現在</p>	<p>神奈川横浜市鶴見区文化センター サルビアホール 他</p>	<p>作品本編振付及びステージングを担当した。本作品は全国の小学校、特別支援学校、ホール等で「トップレベルの舞台芸術創造事業」として平成25年8月より上演されている。 共同制作者：後藤圭、花輪充 他</p>